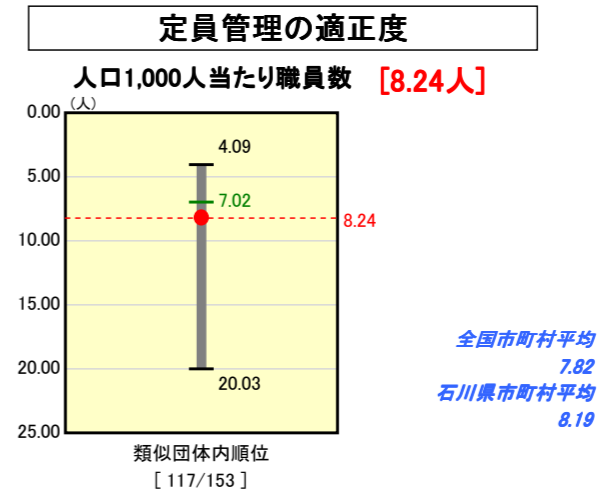
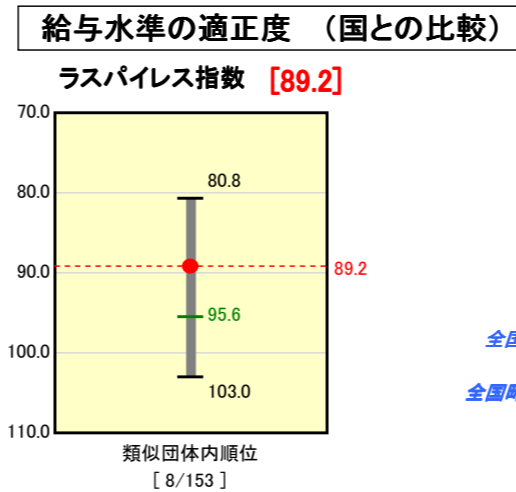
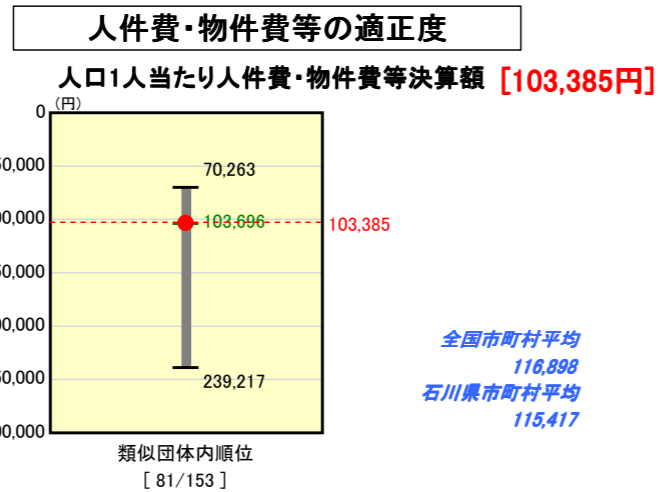
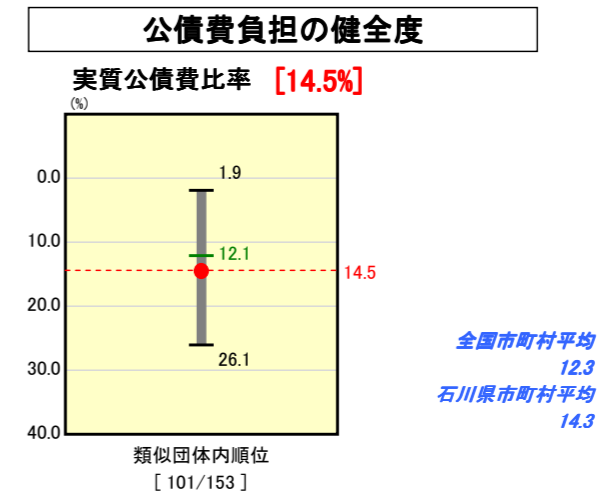
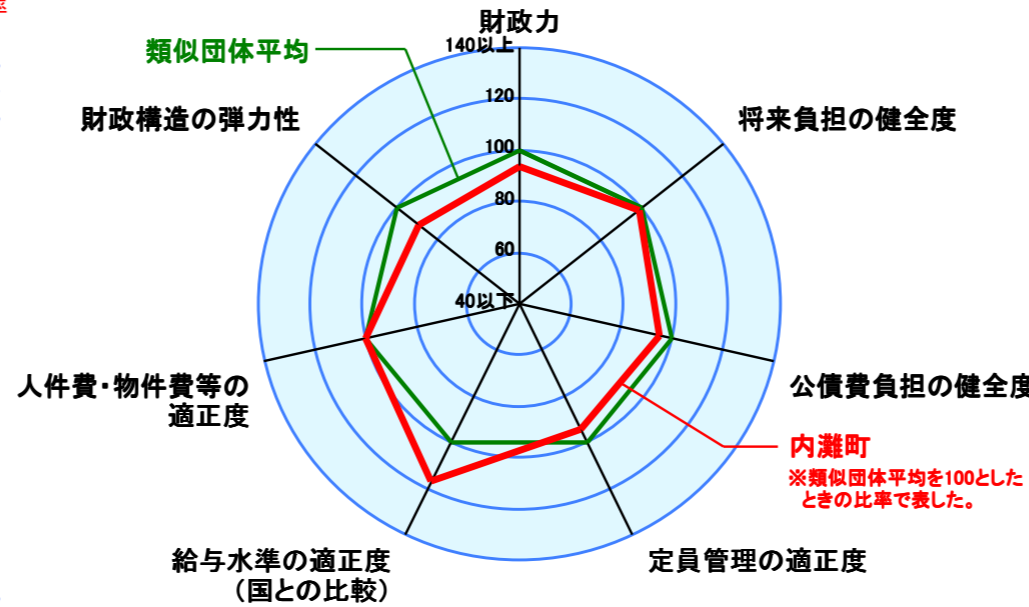
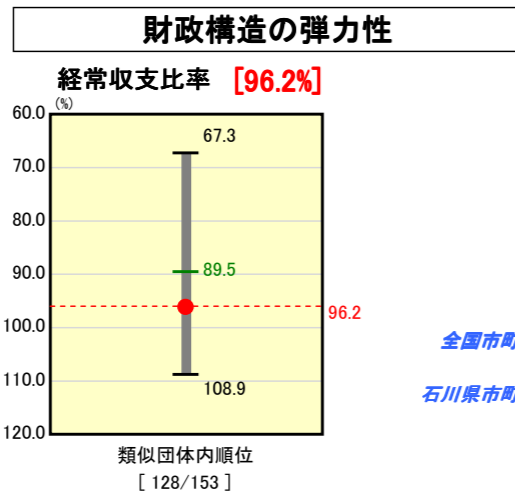
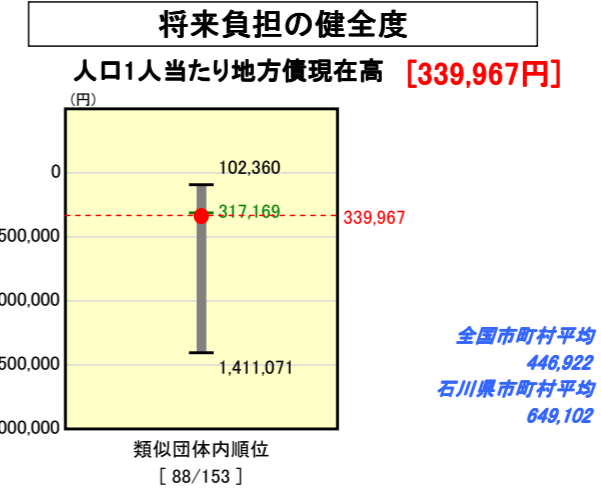
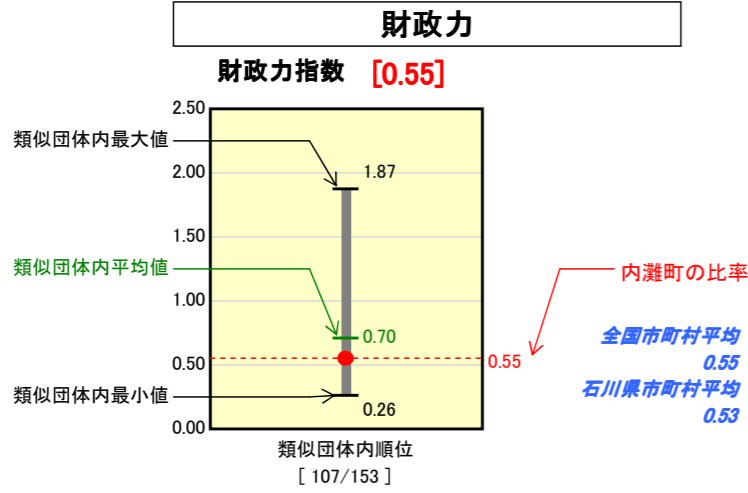


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

石川県 内灘町

人口	26,831人	(H20.3.31現在)
面積	20.38	km ²
歳入総額	8,891,929	千円
歳出総額	8,718,104	千円
実質収支	85,685	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

・財政力指数
: 町内に中心となる産業が無いことなどから、類似団体平均より下回っている。近年大幅な増減はないが、今後は長引く景気低迷、団塊の世代の大量退職等により税収関係の減額が懸念される。今後は投資的経費の抑制、税収等の徴収率向上など、歳入歳出両面において、財政力の健全化を図る。

・経常収支比率
: 前年度に引き続き高水準となった。歳入の一般財源の大幅な伸びが期待できない中で、歳出の見直しが急務となる。

・人口1人当たり人件費・物件費
: 前年度に引き続き、ほぼ類似団体平均となった。今後もより一層の事務事業の見直し、経常経費の削減を図る。

・ラスパイレス指数
: 類似団体平均との比較で低い水準にある。特殊勤務手当の見直しも既に行っており、今後も適正な給与水準の維持に努める。

・人口1人当たり地方債現在高
: 前年度と比べて微増となった。これは小学校施設の耐震改修、中学校の改築事業により地方債の発行が続いている事による。学校施設に係る投資事業は平成20年度で完了する見込。今後は事業を厳選し、発行残高の抑制に努める。

・人口1,000人当たり職員数
: 類似団体平均との比較でやや多い状況となっている。職員の勤務体系・配置・給与水準を総合的に見直し人件費の抑制を図る。